

愛西市らしい都市開発

質問

平成22年度に線引きの見直しがあるようだが、開発される市街化区域、調整区域との調整をどのように考えているのか。

経済建設部長

全市の面積6千683haの内、市街化区域が315haで、市街化率は約4.7%である。

今回の変更は地形、地物の変更に伴う軽微なもの。

市街化区域については、市としてはある程度土地利用の拡大を図りたいと考えるが、県が抑制の方向にある中では難しい。

質問

現在、勝幡駅周辺の整備を進めているところだが、駅にテナントを入れるような官民一体となつての開発はできないか。

経済建設部長

既存の駅舎については名鉄所有ということと、今後、名鉄の計画を確認しながら交渉していく。

テナントについては名鉄との協議の中で意見を聞いていきたい。



柴田義継 議員

望ましい運動習慣

質問

学校のプールの使用時間が減ってきたと聞いているが、なぜか。また、管理を民間委託し、一般開放はできないか。

教育部長

水泳指導については学習指導要領により、小学校では各学年10時間程度、中学校では1年生が必修で10時間、2・3年生が陸上・器械運動との選択実施となっており、以前より授業時間は減少している。一般開放については、学校管理下での使用を目的として設計されている。したがって、安全面での管理が心配される

質問

小学校5年生と中学校2年生を対象とした全国一斉の体力調査を実施したが、愛西市の小・中学生の体力調査の結果は。

教育部長

愛西市の小・中学校においては、部活動の所属率も平日の運動実施状況も、県平均より10ポイント以上高くなっている。今後も望ましい運動習慣を身に付けるよう働きかけていきたい。

